

講義名	卒業研究
講義コード	14063
担当教員	水野 英莉
開講期・曜日・時限	通年 月曜日 4時限
備考	

ゼミ

学部ゼミ・学科ゼミ

学部

人間社会学部

学科

人間社会学科、観光学科、人間健康学科

演習名

水野英莉ゼミナール（スポーツジェンダー論・ジェンダー論）

概要説明

社会学とジェンダー・スタディーズ、フィールドワークをテーマとしたゼミです。

卒業研究では、卒論の提出をめざして、関連文献の輪読に加え、各自での研究調査とその報告を中心に行います。

*ゼミに参加するときは、自主的に動きつつも、互いに協力して学びあう姿勢が大切です。

学位

博士（文学）

教員よりの要望

「楽しむために努力する」学生を歓迎します。熱意をもって研究を進めること、そして周囲の人とのコミュニケーションを大事にすることを学んでもらいます。

教員英字氏名

Eri Mizuno

研究室

研究棟 5404研究室

最終学歴

京都大学大学院文学研究科行動文化学専攻社会学専修

主な研究活動・社会活動・研究業績

・「不妊治療における民間医療の検討 漢方・鍼灸・ヨガの施術者と利用者の語りから」杉浦ミドリ、建石真公子、吉田あけみ、来田享子編『身体・性・生命 個人の尊重とジェンダー』（尚学社、2012、142-172）
 ・『ライフスタイル・スポーツとジェンダー 日本・アメリカ・オーストラリアのサーフィン選手の経験と女性間の差異 - 』『スポーツとジェンダー研究8』（2010、4-17）
 ・『スポーツと差別 - キャスター・セメンヤ選手の『性別疑惑』問題をめぐって』好井裕明、町村敬志、藤村正之、荻野昌弘、稲垣恭子編『文化・メディアが生み出す排除と解放 差別と排除の（いま）3』（明石書店、2011、85-110）

主な卒業論文のタイトル

趣味・特技

サーフィン・ヨガ・釣り・スノーボード

所属

人間社会学部 人間社会学科

所属学会

日本社会学会
 関西社会学会
 日本女性学会
 日本スポーツ社会学会

専門分野

社会学、ジェンダー/セクシュアリティ研究

選考方法

研究演習 までの成績評価、面談で判断します。

担当科目

社会学基礎、社会問題論、家族社会学、健康社会学、スポーツ社会学、専門基礎演習、研究演習、研究演習、卒業研究

備考

卒業のために必要な単位を得るため「だけ」の理由で取っても、卒業論文の完成は極めて困難です。ゼミ時間以外にも多くの時間とエネルギーを費やす必要がありますので、やる気のある学生でないとは単位は得られません。単位を必要としない学生も、ゼミに在籍し、ゼミやゼミのイベントに参加することは可能です。

評価方法

積極的な姿勢と卒業論文の提出

必須事項：学内の懸賞論文コンテストへの投稿